

公表

<2025年> 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	ブロッサムジュニア 若葉台はるひ野教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<専門性の高い療育支援プログラム> 当教室は、モンテッソーリ・リトミック・サーキット・遊び支援・就学支援プログラム等 多彩な専門性の高いプログラムを用意しています。	各支援プログラムにおいて当日のお子様の様子や療育のフィードバックを分かりやすく保護者へお伝えする為に公開写真をHUGへ添付しています。	継続的に保護者様のご意見を適切に各種プログラムへ反映させてお子様の発達を支援していきます。
2	<親子タイムによる家族支援> 保護者・お子様に対して毎回「親子タイム」と言う形で親子で一緒に遊んだり取り組んだりするプログラムを用意しています。お子様の発達の様子を共有し、親子の関わりを支援致します。	・必ず毎回職員が入る形で親子タイムを提供させていただいております。 ・毎回様々な活動を用意し、親子の関わりの時間が充実するようなプログラムを提供させて頂いております。	継続的に保護者様のご意見を適切に各種プログラムへ反映させてお子様の発達を支援していきます。
3	<外部団体との密連携> 個人情報厳密に管理の上、保育所・幼稚園・他事業者とお子様の様々な課題や発達上の変化について連携をさせて頂いております。連携内容については、保護者様へ適切に連絡させて頂いております。	連携が必要な内容を職員間で共有し、支援に活かす仕組みを整えています。	継続的に保護者様のご意見を適切に各種プログラムへ反映させてお子様の発達を支援していきます。

公表

<2025年> 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	ブロッサムジュニア 若葉台はるひ野教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		~ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		~ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<チーム力を活かした個別支援の強化> お子様に適した専門性の高い多彩なプログラムを準備していますが、お子様の増加や支援範囲の拡大も予想される為、今後スタッフ個人のレベルアップと共にチーム力を発揮した支援の強化が必要と思われる事です。	受け入れるお子様の増加に対するスタッフの人員不足やスタッフの減少や入れ替え等に備えた体系立てた研修システムの導入、新人スタッフの教育支援。	事例研修の実施・強化を通して、スタッフのレベルアップ・知見の標準化を図り、チームとしての支援アウトプットを高める活動を目指します。
2	<駐車場について> 3台分の駐車場を確保しておりますが、特に土日(午前)の親子タイム時に混雑しご迷惑をおかけする事があります。	駐車スペースの確保	混雑緩和と先着順となっているため、親子タイムの時間をずらす、別の駐車場を確保する等検討いたします。
3			

公表

<2025年> 保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名		公表日				回収数		
ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室		2026年 3月 15日				36	28	
		利用児童数				回収数		
		36				28		
チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	0	0	1	特になし	集団活動ができる広い部屋が2つあります。事業所内のスペースを引き続き最大限活用して参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1	1	3	日によってバラツキがあるように感じます。	職員の配置人数は活動内容やお子さまの人数、またお子様の発達を鑑みて、概ね2～6名程度で支援を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	0	4	特になし	生活空間はシンプルで分かりやすい構造となっております。イラストなどを使用してお子様に分かりやすい配慮をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お手洗いにスリッパ等の設置がなく、トイレに入った足で施設中を歩きまわるのは不衛生に感じる ・窓が大きくて日当たりがいいのがとても良いと思います。 	毎朝必ずトイレ清掃とトイレ床・廊下含め全教室の床の消毒作業を行っています。トイレは安全配慮上スリッパをおかない様にしてあります。不衛生にならないよう環境を引き続き清掃の徹底、環境を整えて参ります。
適 切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	1	2	スタッフの入れ替わりが多く、新しい職員は子どもに対応に慣れていないひとも多く、子どもも親も不安感が増す時があります。	2025年度は、スタッフの離職が多くご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。福祉業界全体で労働力不足が深刻となっており、職員の補充も厳しい状況ではありますが、2026年4月より正社員を中心に人員を増やし支援の安定化、充実を図って参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	2	特になし	2024年11月にHPに支援プログラム公開しております。発達の5領域に沿った支援を行って参ります。2026年4月に「最新版」をHPへ掲載予定です。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	0	面談を通して作成してもらえます。	個別支援計画書更新の前には、必ず保護者様と面談をして、情報共有やアセスメントを行っております。

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
Blossamジュニア若葉台はるひ野教室		2026年 3月 15日				36		28	
切 な 支 援 の 提 供	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1			0	1
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	3	特になし	支援内容やめあてを明確にしなが、引き続き、保護者さまにお伝えして参ります。		
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	0	0	特になし	各担当は季節行事などのエッセンスを取り入れながらプログラムを立てております。また、モンテッソーリの要素を取り入れた支援を提供しております。定期的にHPにブログを掲載しております。ぜひ、ご覧になってください。		
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	5	9	特になし	今後、地域との交流を検討して参ります。		
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	1	0	特になし	引き続き、保護者様に分かりやすい説明を心がけて参ります。		
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	0	特になし	個別支援計画書更新の時期には、計画内容と支援内容の説明を行っております。		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	0	1	10	特になし	スタッフのペアトレ研修受講を通じて今後、対応できるかを検討して参ります。		
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	3	0	0	特になし	支援終了後は、「親子タイム」に保護者さまに参加していただいております。その際、コミュニケーションを深め、共通理解を深めております。		
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	3	1	1	特になし	日頃のコミュニケーションにおいてや「家族支援加算」を算定のもと、ご相談やご助言を行っております。		

事業所名		公表日					回収数	
ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室		2026年 3月 15日					36	28
		利用児童数				ご意見		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	2	0	1	特になし	引き続き、利用者様に寄り添いながら支援を行って参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	4	11	特になし	今後、検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	3	3	特になし	適宜、家族支援加算算定のもと、相談援助をお受けすることができることをお伝えしております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	3	0	特になし	日頃のコミュニケーションを大切に、意思の疎通や情報伝達に努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	1	4	SNSをやられてるのかは知らない。	週に1回程度、ブログを配信しております。また、支援後のサービス提供記録では写真を添付するなどの情報発信に努めております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1	0	3	特になし	契約時に説明するとともに、引き続き、個人情報の管理に努めて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	8	特になし	各種マニュアルを設置しております。また、年に複数回、避難訓練を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	1	11	特になし	年に数回、火災と地震を想定した避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	7	特になし	安全には十分配慮致した上で支援を行っています。今後、安全計画の周知をして参ります。

公表

<2025年> 保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名

ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室

公表日

2026年 3月 15日

利用児童数

36

回収数

28

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	7	特になし	契約時に説明しておりますが、怪我等を含む事故が発生した場合、真摯に対応して参ります。また、送迎時にも保護者に対して詳細を説明するようにしています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	1	0	0	特になし	利用者様に安心してご利用いただけるよう、引き続き努めて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	1	1	幼稚園と同じくらい楽しみにしているようです。凄く楽しみにしている様子が伝わってきています	「楽しかった」と思っただけけるよう、支援内容及び支援方法の充実、物的環境及び人的環境の整備に努めて参ります。
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2	1	0	現状の支援に感謝すると共に、これからも頼りにさせていただきます。また、スタッフの入れ替えがあってから、だいぶ月日も経ちますがスタッフの入れ替えも多いし、運用も変わった、なんとなく落ち着きがないように感じます。特性のある子が利用する場所であるので配慮はもう少ししてもらえると安心して子ども通えると思います。	2025年度は、スタッフの離職が多くご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。福祉業界全体で労働力不足が深刻となり、保育士の補充も厳しい状況ではありますが、2026年4月より正社員を中心に人員を増やし支援の安定化、充実を図って参ります。
							子どもが毎回楽しみに通所しています。子どもが笑顔で安心して通えるということがなによりなので大変ありがたいです。	また、リーダー、担当の固定化も順次進めて行きたいと思っております。

公表

<2025年> 事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室				公表日	2026年3月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	10名程度の集団活動の場合は、2グループに分かれて活動するなど、利用数に合わせて支援室を使っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	1	利用児の人数やこどもの状態を確認して、スタッフ配置を見える化しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	イラストやスケジュール等の視覚的支援を用いて、活動の見通しが得られるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0	掃除は午前、午後と一日に2回行っています。	個別指導室に教材を置いているため、適宜見直しをすすめ、子どもたちが活動しやすい空間を整備して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	4	気持ちを落ち着かせるため、あるいは一人で過ごしたいときなど、個別の部屋や相談室を利用しています。	部屋の整理整頓をすすめ、心地よい空間を作って参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	0	環境整備においては、日々進捗状況を共有し、PDCAサイクルを循環させています。	業務改善推進のため、従業員にアンケートを取り、業務改善を進めて参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	事業所の自己評価や個別的なご意見を伺い、適宜、職員間で話し合いを設け、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1		今後、職員面談の回数を増やして参ります。その中で、業務として改善できるところを拾い上げ、職員間で話し合いを設けて参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	3		第三者評価については今後検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	7	法定基準に基づいて行われています。ブロッサム本部から定期的に研修が実施されています。	事業所単位でも研修が実施できるよう年間計画に組み入れていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	2024年11月に「2024年度 5領域における支援プログラム」の公表をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	保護者にアセスメントシートを事前に記入して貰い、支援ニーズを拾っています。	今後、会議の内容に事例検討及びケース会議を組み込み、安定的に行って参ります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0		サービス提供会議が安定的に実施できるよう、業務時間等工夫して参ります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	個別支援計画書は一括してファイリングすることで、支援前にはスタッフが計画書の内容を確認できるように工夫しています。	午前の支援が終わった後に行うスタッフミーティングの時間を利用して、サービス提供会議や個別支援計画書の共有を行って参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	2		記録や日報の確認、リーダーからの共有なども含め、利用児の配慮事項等を各スタッフが把握していくことを周知して参ります。

公表

<2025年> 事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室		公表日		2026年3月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		個別支援計画書には左記の4つのねらい及び支援内容を踏まえ、作成しております。今後とも具体的な内容を設定して質の高い支援をめざして参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	各プログラムのリーダーを中心に支援内容を立案しています。子どもの発達を鑑みながら「楽しい」と思える内容を提供しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	各プログラムのリーダーを中心に、季節にあった活動や行事を鑑みてプログラムを立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	1	2024年5月から小集団でのモンテッソーリ教育の要素を取り入れた支援を展開しております。利用児の発達に応じて個別的支援、集団での支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	支援前にはスタッフ全員で、個別支援計画書や配慮事項の共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	支援終了後にはスタッフ全員で集まり、支援の振り返りを行っております。その中で「今後の支援」に繋がる視点を見出しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	記録を作成して、保護者様に公開しております。また、職員間のみで共有する記録も作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0	個別支援計画書更新の際には、保護者面談を行っています。事前にモニタリングを行い、面談の際には保護者様にモニタリング内容を共有しています。	
関係機関	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	障害児相談支援事業所のご担当者様とは概ねお電話にてモニタリングを行っています。その際には、活動のリーダーや児発管などが対応しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	利用児が所属している幼稚園又は保育園、他事業所、療育センターなどに訪問に行き、積極的に連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	利用児が所属している幼稚園又は保育園、他事業所、療育センターなどに訪問に行き、積極的に連携しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	利用者の希望をもとに「就学支援シート」を作成しており、当事業所での支援内容や様子を情報共有しております。	
	(28～30は、センターのみ回答)					

公表

<2025年> 事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名		ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室		公表日		2026年3月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
や 保 護 者 と の 連 携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	9	療育センターが主催する研修会に参加、また療育センター併用利用児の見学等にお伺いし、必要におうじて助言等を受けています。		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	7		地域の保育園や幼稚園との情報交換を深め、インクルーシブの視点のもと、他の子どもたちと交流する機会を設けて参ります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	当事業所の支援の様子は、システムを使って、写真添付で保護者様に公開をしています。また、ご来所の際にはコミュニケーションを取りながら、保護者様との共通理解を深めています。		
保 護 者 へ の 説 明	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	4	支援後には「親子タイム」として、保護者様が参加できる時間を用意しています。その中で情報共有等を行っています。	今後、ペアレントトレーニングの開催を検討して参ります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	ご契約の際には、運営規程、支援プログラム、利用者負担等の説明を行っています。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	個別支援計画書作成の前は保護者様とご面談を設けています。その際、保護者様のご意向や「本人の希望」等を伺い、計画書に反映しています。		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0	計画書作成後は対面で説明、またはお電話等で説明をしています。ご同意頂き支援を行っています。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	日頃からコミュニケーションを深めるとともに、事業所内にて「家族支援」として面談等の機会があることを周知しています。		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	3	土曜日及び日曜日に「保護者親睦会」を開催しました。また、「親子タイム」の時間では、利用児のきょうだいも参加が多く、その際に交流する姿があります。		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	加算算定のもと「家族支援」として、相談や面談ができることを周知しています。		

公表

<2025年> 事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室		公表日		2026年3月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	1	活動内容など、週1回程度、ブログで配信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報は施錠しているロッカーに保管するとともに、日頃から取り扱いには十分に留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	保護者様との情報伝達は、電話、メール、文章などを使っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	11		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営は現在行っておりません。今後、営業時間外での施設解放を検討して参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	感染症対策の「嘔吐処理」のロールプレーを行い、処理対応の訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1	BCPをもとに、防災訓練、避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	契約時に左記内容をヒヤリングしております。また、保護者様から適宜、聞き取りなどをして確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	2	医師の指示書の提出はありませんが、保護者様にアレルギー等を確認して、食育活動の際には必ず確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2	安全計画のもと、法定研修や委員会を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1	広域災害時の避難場所及び情報伝達の方法など契約時に説明しています。また、計画に基づき訓練等を行い、保護者様に周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	日々の支援終了後にはヒヤリハットを確認しています。	今後、ヒヤリハットを分析して再発防止に努めて参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	1	年に複数回、虐待研修及び虐待防止委員会を実施して、適切な対応や関わりをしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	1	身体拘束適正化委員会を実施して、「やむを得ない場合」について話し合っています。また、契約時には十分に説明して計画書に記載しています。		